**平成30年度第4回岩国市環境審議会の結果について**

**１　会議名**

平成30年度第4回岩国市環境審議会

**２　開催日時**

平成31年2月19日（水）午後2時00分から午後2時45分

**３　開催場所**

岩国市役所2階　特別会議室

**４　出席した者の氏名**

（委員）

藤野完二（会長）

河本智勇、木村圭一、嶋田陽生、白木吉子、竹下直彦、田村　巖、樋口隆哉、松本哲郎、

村元雅晴、森川裕子

（事務局）

環境保全課　課長：中津朝実、環境対策班長：青木肇、環境対策班：山本剛史

（担当部署等）

環境事業課　課長：山根正美、企画室長：藤井哲夫

株式会社東和テクノロジー　望月俊彦、武田真爾

（関連部署）

焼却施設建設事務所　所長：槙本新次郎、環境施設課　課長：穴水辰雄、下水道課　主幹：片野光一

**５**　**議題**

１　岩国市一般廃棄物処理基本計画の改定について

**６　公開・非公開の別**

公開

**７　傍聴人数**

0人

**８　会議内容概要**

《審議等事項》

（1）岩国市一般廃棄物処理基本計画の改定について

（会　長）

本日は委員12名のうち11名にご出席いただいています。これは岩国市環境審議会条例第6条第2項の規定である過半数以上となりますので、本日の会議が成立していることを報告します。会議録の署名については田村委員、松本委員にお願いします。

それでは、本日の議題である岩国市一般廃棄物処理基本計画の改定について担当課から説明をお願いします。

～担当課よりパブリックコメント募集結果について説明～

－質疑応答－

（委　員）

パブリックコメントで意見を書くよう言っても普通の人には難しい。積極的に書いて出そうとなる方法、どうすれば書いて出してくれるのかを次から考えたほうがよいと思いました。一つも意見がないというのは方法の問題かとも思います。

（担当課）

方法については、次回になりますが検討したいと思います。

～担当課より第３回岩国市環境審議会以降の素案修正について説明～

（委　員）

環境基準の達成状況を○▲×を使って表現してありますが、微小粒子状物質の環境基準値を超えた日数は2地点で4と2で▲と○です。この区分けはどうなっているのでしょうか。光化学オキシダントについては、超えた日が102と95あり×なのはわかるのですが。

（担当課）

環境基準の達成状況は、長期的評価と短期的評価があり、長期的評価のほうは達成できていないが短期的評価は達成できている状況にあるので▲、その評価の方法が環境基準を超えた日数だけでなく長期的な評価については1年間を通しての整理の中で上位の数字を除外して評価した結果となっています。

（委　員）

P.46にある数値目標の総括で、ごみの排出量が895.5ｇで基地を除いたら840ｇとなっており、基地ごみを除くと1人あたり平均値が低いということは、基地からのごみが人口に対して多いということで、基地に対して改善要望する必要があると感じたのですがそういう理解でよいでしょうか。

（担当課）

どちらも分母の人口は市の人口で、ごみの総排出量は基地ごみも含めたものを人口で割ったものです。基地ごみを除いて同様に岩国市の人口で割ったものが840ｇということです。

（委　員）

では、分母である人口には米軍は入っていない数字ということですね。基地に1人当たりの排出量の削減を求めることにより下がるというわけではないのですね。

(担当課)

いずれにしましても基地からのごみの削減ができれば、全体のごみ量が減るため下がってきます。

（会　長）

これ以上特に質問等無いようなので、ここで審議を終了し、わたしから諮問事項である岩国市一般廃棄物処理基本計画改定についての答申案を提案させていただきたいと思いますので、配布して下さい。

～答申案配布・読み上げ～

（委　員）

4の環境教育に関して、民間でも行政でもかなり講座を持っていると思いますが、周知がもう一歩かと思います。学校や生涯学習のほうで講座やイカルス等がより活用されるようしていく方法を考える必要があると思います。

（会　長）

4の環境学習について学校や生涯学習への周知を図っていくこと、イカルスの活用を検討いただきたいと受け取りましたがよろしいでしょうか。その点をどう盛り込むかはお任せいただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

（委　員）

はい。

（委　員）

2点あるのですが、まず、1の「持ち出されたごみの状況を把握し」の箇所は「持ち出された」ではなく、単に「出された」か「排出された」のほうがよいかと思います。

次に、プラスチック資源循環戦略の方向性に沿って、海洋プラスチック問題が注目されてはいますが、海洋プラスチックの問題をきっかけにプラスチックの使い方や今後の方向性について国のほうで議論しているところで、海洋プラスチックがきっかけではありますがプラスチックそのものについての今後の問題解決という全体的な視点を含めた表現にしたほうがよいと思います。

（会　長）

確かにそうですね。只今の意見は2行目の「持ち出されたごみ」の「持ち出された」を「出された」あるいは「排出された」へと置き換えること。もう一つ、最後の、海洋プラスチックの問題につながる施策展開とありますが、海洋プラスチックにこだわらずプラスチック政策そのものについてと視点を広げてみてはどうかというご意見だったと思います。そういう受け取りでよろしいでしょうか。この2点、再検討してみたいと思います。

私のほうで答申書を修正し、市長に提出させていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

（一同）

異議なし

（会　長）

それでは、本日の会議を終了いたします。合計4回にわたりまして審議にご協力いただき有難うございました。